【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公表番号】特表2010-501046(P2010-501046A)
【公表日】平成22年1月14日(2010.1.14)
【年通号数】公開・登録公報2010-002
【出願番号】特願2009-524044(P2009-524044)
【国際特許分類】
Ｅ２１Ｄ　20/00　　(2006.01)
Ｅ０２Ｄ　 5/80　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ２１Ｄ　20/00　　Ｇ
Ｅ０２Ｄ　 5/80　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月24日(2010.9.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５９】
図２３は側面図を示し、図２４は図７と同様な表現における、開口４５を有し、かつ溶接４１による閉鎖溶接部を有する拡張可能なチューブ１に対して、膨張アダプター２０をいかに使用し得るかを示す長手方向の断面図である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６０】
図２５は、溶接部４１に少なくも１個の開口４５を有する図２３の実施例における閉鎖溶接部を示す図２３のＢ－Ｂ線に沿った断面図である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６１】
図２６は閉鎖溶接チューブ１において、ケーシング状スリーブ７内にどのようにして別の要素をねじ込み得るかを示す。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６２】
図２７は、少なくも１個の開口４５のある溶接部４１による閉鎖溶接部を隣接した端部に有する２個の拡張可能なチューブ１を、ケーシング状スリーブ７により互いにいかに連

結し得るかを示す。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】図面の簡単な説明
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図面の簡単な説明】
【００６７】
【図１】図式的に示された拡張可能なチューブを有する摩擦チューブアンカーを示す図である。
【図２】図１の線Ａ－Ａに沿った断面図である。
【図３】ケーシング及びケーシング状スリーブを有する拡張可能なチューブの断面図である。
【図４】図３の摩擦チューブアンカーの斜視図である。
【図５】ハンガージャケットとして使用されるケーシング状スリーブを示す軸方向断面図である。
【図６】ケーシングの軸方向断面図である。
【図７】圧力流体供給用のケーシング状スリーブの一方の端部から挿入された拡張可能なチューブ、及び他方の端部に挿入された膨張アダプターを有するケーシング状スリーブの軸方向断面図である。
【図８】ケーシングを介してケーシング状スリーブの一方の端部からねじ込まれ拡張されたチューブ及び他方の端部にねじ込まれたアイボルトを有するケーシング状スリーブを示す図である。
【図９】両側からねじ込まれたチューブを有するケーシング状スリーブの軸方向断面を示す図である。
【図１０】図９の配列を示す斜視図である。
【図１１】図９の線Ａ－Ａに沿った断面図である。
【図１２】図９（拡張可能なチューブのみ）の線Ｂ－Ｂに沿った断面図である。
【図１３】溶接により拡張可能なチューブの端部に取り付けできるケーシングの斜視図である。
【図１４】図１３のケーシングの軸方向断面図である。
【図１５】図９のケーシング状スリーブのみの軸方向断面図である。
【図１６】ケーシングを介して両側からねじ込まれた拡張可能なチューブを有するケーシング状スリーブの別の実施例を示す図である。
【図１７】図１６の線Ａ－Ａに沿った断面図である。
【図１８】図１６の線Ｂ－Ｂに沿った拡張可能なチューブのみの断面図である。
【図１９】拡張可能なチューブに連結された（溶接された）ケーシングを示す斜視図である。
【図２０】図１９のケーシングの断面図である。
【図２１】図１６のケーシング状スリーブのみの軸方向断面図である。
【図２２】閉鎖溶接を有する一実施例の長手方向断面図を示す図３と同様な図である。
【図２３】拡張可能なチューブを溶接封鎖するための図７と同様な実施例の側面図である。
【図２４】拡張可能なチューブを溶接封鎖するための図７と同様な実施例の長手方向の断面図である。
【図２５】図２３の線Ｂ－Ｂに沿った断面図である。
【図２６】図８の閉鎖溶接された拡張可能なチューブと同様な実施例の部分的に切り取られた図である。
【図２７】ケーシング状スリーブを介して互いに連結（閉鎖溶接）されている２個の

拡張可能なチューブを有する実施例（部分図）を示す図である。